

注3

**大学番号：私380**

[平成23年度設置]

計画の区分：学部設置

注1

**認可**

聖泉大学 看護学部 看護学科

注2

**【認可】設置に係る設置計画履行状況報告書**

# 1 調査対象大学等の概要等

## (1) 設置者

学校法人 聖泉学園

## (2) 大学名

聖泉大学

## (3) 大学の位置

〒521-1123

滋賀県彦根市肥田町720番地

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を( )書きで記入してください。  
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

## (4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(シミズ ツタオ) 清水傳雄 (平成18年4月)		
学長	(イブカ ノブオ) 井深信男 (平成20年4月)	(ツツイ サチコ) 筒井裕子 (平成24年4月)	任期満了に伴う変更 平成24年4月(24)
学部長	(ツツイ サチコ) 筒井裕子 (平成23年4月)		
学科長等	(モリシタ タエコ) 森下妙子 (平成23年4月)		

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください。  
 ・ 様式は, 平成22年度開設の4年制の学科の場合(平成25年度までの4年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象学部等の名称, 定員

調査対象学部等の名称(学位)	設置時の計画				備考
	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
看護学部 看護学科  学士(看護学)	4年	80人	— 年次 人	320人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前の人数, 変更年月及び報告年度を( )書きで記入してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

対象年度 区分	平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度		平均入学定員 超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	80 ( ) [ ]	— ( ) [ ]	80 ( ) [ ]	— ( ) [ ]	80 ( ) [ ]	— ( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	1.07倍	
志願者数	168 ( ) [ ]	— ( ) [ ]	238 ( ) [ ]	— ( ) [ ]	267 ( ) [ ]	— ( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]		
受験者数	128 ( ) [ ]	— ( ) [ ]	191 ( ) [ ]	— ( ) [ ]	233 ( ) [ ]	— ( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]		
合格者数	98 ( ) [ ]	— ( ) [ ]	127 ( ) [ ]	— ( ) [ ]	125 ( ) [ ]	— ( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]		
B 入学者数	71 ( ) [ ]	— ( ) [ ]	91 ( ) [ ]	— ( ) [ ]	94 ( ) [ ]	— ( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]		
入学定員超過率 B/A	0.88		1.14		1.18					

- (注) ・ 数字は, 平成25年5月1日現在の数字を記入してください。  
 ・ ( ) 内には, 編入学の状況について**外数**で記入してください。なお, 編入学を複数年次で行っている場合には, (( ))書きとするなどし, その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「—」を記入してください。  
 ・ [ ] 内には, 留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。  
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。  
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。  
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「—」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。  
 ・ 「入学定員超過率」については, **各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出**してください。なお, 計算の際は**小数点以下第3位を切り捨て, 小数点第2位まで記入**してください。  
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「**入学定員超過率**」と同様にしてください。

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

区分	平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度		備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[ - ] 71	[ - ] -	[ - ] 91	[ - ] -	[ - ] 94	[ - ] -	[ ]	[ ]	
2年次	/		[ - ] 70	[ - ] -	[ - ] 87	[ - ] -	[ ]	[ ]	
3年次	/		/		[ - ] 67	[ - ] -	[ ]	[ ]	
4年次	/		/		/		[ ]	[ ]	
計	[ - ] 71	[ - ]	[ - ] 161	[ - ]	[ - ] 248	[ - ]	[ ]	[ ]	

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成23年度 入学者	71 人	4 人	平成23年度	1 人	0 人		5.6% %
			平成24年度	3 人	人		
			平成25年度	人	人		
			平成26年度	人	人		
平成24年度 入学者	91 人	4 人	平成24年度	4 人	人		4.4% %
			平成25年度	人	人		
			平成26年度	人	人		
平成25年度 入学者	94 人	人	平成25年度	人	人		% %
			平成26年度	人	人		
平成26年度 入学者	人	人	平成26年度	人	人		% %
合 計	256 人	8 人					3.1% %

## 2 授業科目の概要

<看護学部 看護学科>

### (1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
教養科目	人間の理解	人権論	1前	2								
		哲学	2後	2								
		文学	4後	2								
		心理学概論	1前	2								
		教育学概論	1前	2								
		人間発達論	1後	2								
		対人コミュニケーション論	1前	2								
		生涯学習論	4後	2								
	社会・地域の理解	憲法	1前	2								
		社会学概論	1前	2								
		社会心理学	1後	2								
		滋養論	3前	2								
		ボランティア論	3前	2								
	科学的思考の基礎	自然科学の発展	1前	2								
		統計学	2前	2								
		環境と生物	1前	2								
		化学	1前	2								
		生活と科学	2後	2								
		情報処理入門	1前	1								
		情報処理演習	1後	1								
	語学	大学基礎英語 A	1前	2								語学教育の充実ため、講義1単位 当たり15時間を演習1単位当たり 30時間に変更(23)
		大学基礎英語 B	1後	2								
		Communication English A	1前	2								
		Communication English B	1後	2								
		実用中国語 A	2前	2								
	保健体育	スポーツ実技 A	1前	1								
		スポーツ実技 B	1後	1								
スポーツ実技 C		2後	2									
専門科目	人間の心身と健康障害の理解	人体の構造と機能 I	1前	2		1					オムニバス	
		人体の構造と機能 II	1通	2								
		人体の構造と機能 III	1後	2		1						
		薬理・薬剤学	2後	2								
		微生物学、病理学	1後	2								
		疾病・障害論 I	2前	2							オムニバス	
		疾病・障害論 II	2後	2							オムニバス	
		フィジカルアセスメント	1前 後	1		1			1		オムニバス	
		人間関係論	1後	2				1				
		人格心理学	3前	2								
		障害児心理学	3前	2								
		疫学	3前	2								
		社会福祉概論	4後	2								
		保健福祉行政論	3前	2				1				
		保健統計学	1後	2								
		衛生学	3前	2								教育効果向上のため配当年次を変更(24)

専 門 科 目	健 康 生 活 を 支 え る た め の 看 護	基礎看護論Ⅰ	1前	2		1							教育効果向上のため配当年次を変更(24)	
		基礎看護論Ⅱ	2前 後	1		1								
		看護過程論	2前	2		1								
		生活援助論	1前	1		2	1		1					
		生活援助技術論Ⅰ	1後	2		1	1		2	3				
		生活援助技術論Ⅱ	2前	2		1	1		2	3				
		医療安全・倫理	1前	1										オムニバス
		災害看護論	4後		1		1							
		ターミナルケア論	3前		2									
		成人看護論	1後	2			1							オムニバス
		成人看護技術論Ⅰ	2後 通	2			1	3		2				
		成人看護技術論Ⅱ	3前	2			1	3		2				
		老年看護論	1後	2			1							
		老年看護技術論Ⅰ	2前	2			2	1		2				
		老年看護技術論Ⅱ	2後	2			2	1		2				
		精神看護論	2前	2			1							
		精神看護技術論Ⅰ	2後	2			1		1	1				
		精神看護技術論Ⅱ	3前	2			1		1	1				
		リハビリテーション看護論	2後 前		1								教育効果向上のため配当年次を変更(24)	
		母性看護論	2前	2			1							
		母性看護技術論Ⅰ	2後	2			1		1	1			※実習	オムニバス
		母性看護技術論Ⅱ	3前	2			1		1	1				
		小児看護論	2前	2			1							
		小児看護技術論Ⅰ(保育園実習含)	2前	2			1		1	1				
		小児看護技術論Ⅱ	2後	2			1		1	1				
		地域・在宅看護論	2前	4			1							
		地域看護技術論Ⅰ	2後	2				1	2	1				
		地域看護技術論Ⅱ	3前	2			1		1	1				
地域看護技術論Ⅲ	3前	2			1		2	1						
在宅看護技術論Ⅰ	2後	2			1		1	1	2					
在宅看護技術論Ⅱ	3前	2												
学校保健論	3前		2			1								
家族看護論	4後		1			1								
障害児・者ケア論	4後		1											
基礎看護学実習Ⅰ	1前	1			1	1		1	2		保健師助産師看護師法改正に伴う保健師教育の充実を図るため、 地域看護学実習を4単位から5単 位に変更予定 (24)			
基礎看護学実習Ⅱ	2後	2			1	1		2	2					
成人看護学実習	3後～4前	6			1	3		2						
老年看護学実習	3後～4前	4			2	1		2						
母性看護学実習	3後～4前	2				1		1	1					
小児看護学実習	3後～4前	2			1			1	1					
精神看護学実習	3後～4前	2				1		1	1					
地域看護学実習	3後～4前		5 +			1	1	2	1					
在宅看護学実習	3後～4前	2			1			1	2					
地域統合実習	4前	2			7	6	5	8						
卒業研究	4通	4			7	6	5							
教 職 科 目	教職論	1前			2							養護教諭課程の教育効果を考慮して科目名称を変更予定 (24)		
	学習と発達の心理学													
	児童心理学	3前			2									
	教育経営論	2後			2									
	教育課程論	3前			2									
	道德教育論	3前			2									
	特別活動論	1後			2									
	教育方法論	2前			2									
	生徒指導の理論と方法	2後			2									
	教育相談	2後			2									
	養護概説	3前			2		1	1						
	教職実践演習(養護)	4後			2		1	1						
	養護実習事前事後指導	4後 前			1		1	1			教育効果向上のため配当年次を変更(24)			
	養護実習	4後 前			4		1	1					教育効果向上のため配当年次を変更(24)	

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
51	38	13	102	51	39	13	103	
				[ 0 ]	[ 1 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	



(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置認可時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにもかかわらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。  
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置認可時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「認可時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{認可時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{\phantom{0.00}}$$

### 3 施設・設備の整備状況, 経費

区 分		内 容				備考			
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	大学全体			
	校舎敷地	21,049㎡	㎡	㎡	21,049㎡				
	運動場用地	9,238㎡	㎡	㎡	9,238㎡				
	小 計	30,287㎡	㎡	㎡	30,287㎡				
	そ の 他	3,650㎡	㎡	㎡	3,650㎡				
	合 計	33,937㎡	㎡	㎡	33,937㎡				
(2) 校 舎	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	大学全体				
	( 8,427㎡)	( ㎡)	( ㎡)	( 8,427㎡)					
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	大学全体			
	16室	9室	5室	3室 (補助職員 1人)	1室 (補助職員 1人)				
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称		室 数			申請学部全体			
	看護学部 看護学科		24 室						
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の 名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	大学全体での共用分 を含む 図書 32,682冊〔2,830冊〕 学術雑誌44種〔4種〕 視聴覚資料1,315点	
	看護学部	37,000〔3,800〕 (35,639〔3,579〕) (35,744〔3,580〕)	95〔23〕 ( 106〔19〕) ( 53〔15〕)	8〔8〕 ( 1〔1〕) ( -〔-〕)	1,365 (1,444) (-1,365)	1,227 (1,227)	54 (54)		
	計	37,000〔3,800〕 (35,952〔3,630〕)	95〔23〕 ( 89〔19〕)	8〔8〕 ( 5〔5〕)	1,365 (1,365)	1,227 (1,227)	54 ( )		
(6) 図 書 館	面 積	閱 覧 座 席 数		取 納 可 能 冊 数			大学全体		
	491㎡	77席		70,000冊					
(7) 体 育 館	面 積	体育館以外のスポーツ施設の概要						大学全体	
	1,844㎡	テニスコート4面							
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	申請学部
		教員1人当り研究費等	500千円	500千円	図書購入費	20,000千円	1,235千円 <del>3,000千円</del>	3,000千円	図書費には、電子ジャーナル・データベース
	共同研究費等	2,000千円	2,000千円	設備購入費	41,414千円	19,838千円	—	の整備費(運用コスト	
	学生1人当り 納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	含む)を含む。	
		1,780千円	1,580千円	1,580千円	1,580千円	—	—		
学生納付金以外の維持方法の概要		私立大学等経常経費補助金, 資産運用収入, 雑収入 等							

#### 4 既設大学等の状況

大学の名称	聖 泉 大 学								備 考
既設学部等の名称	修業 年限	入学 定員	編入学 定員	収 容 定員	学位又 は称号	定 員 超過率	開 設 年 度	所 在 地	
人間学部 人間心理学科 臨床・発達心理専攻 健康運動心理専攻 キャリア創造専攻	4年	75人 25人 25人 25人	年次 人	250人	学士 (人間心理学)	0.86 倍	平成15年度	滋賀県彦根市 肥田町720番地	
人間キャリア創造学科	4年		3年次 10人	70人	学士 (人間心理学)		平成20年度		
看護学部	4年	80人		240人	学士 (看護学)	1.01 倍	平成23年度		
大学の名称	聖 泉 大 学 短 期 大 学 部								備 考
既設学部等の名称	修業 年限	入 学	編入学 定員	収 容 定員	学位又 は称号	定 員 超過率	開 設 年 度	所 在 地	
短期大学部 介護福祉学科	2	—	—	—	短期大学士 (介護福祉)	—	平成9年	滋賀県彦根市 肥田町720番地	
情報コミュニティ学科	2	—	—	—	短期大学士 (社会学)	—	平成20年		

## 6 留意事項に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
<p>認可時 (22年12月)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・専任教員の補充を必要とされた2授業科目については、科目開設時まで専任教員を充足すること。</li>   <li>・教員の年齢構成が高いため、教育研究の継続性を踏まえ、今後の採用計画など、教員組織編成の将来構想を着実に実行すること。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・成人看護技術論Ⅰ（2年次後期）及び成人看護技術論Ⅱ（3年次前期）の開設に対応するため、平成23年9月「専任教員採用等設置計画変更書」提出し、「教員審査済」（24）</li>   <li>平成24年度に引き続き、高齢教員の対応策として看護専門領域については、今後、適切な教員配置を実施する上で助手、助教、講師を中心とした計画的な後継者育成を引き続き行う。又、教育研究を支援する指導体制の確立を図っていく。（25）</li> </ul>	
<p>設置計画履行状況 調査時 (24年2月)</p>	<p>「該当なし」</p>		

## 7 その他全般的事項

### <看護学部 看護学科>

#### (1) 設置計画変更事項等

認可時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
<p>(卒業要件及び履修方法)</p> <p>卒業要件として129単位以上を修得しなければならない。その内訳は、以下の通りとする。</p> <p>●履修科目の登録上限（半期）：1年次前期を22単位（基準値）とし、以後当該の直前学期のGPAによって20単位～24単位を上限単位数とする。</p> <p>●免許・資格取得については、看護師国家試験受験資格取得は、129単位、看護師・保健師国家試験受験資格取得は、129単位のうち専門科目の「地域看護学実習」4単位を修得しなければならない。また、養護教諭一種免許状取得については、卒業要件以外に「教職科目」より13科目27単位を修得しなければならない。</p>	<p>保健師助産師看護師学校養成所指定規則の一部改正に伴い、平成24年度より以下のとおり変更する。</p> <p>保健師教育の改正により修得単位数が23単位（20単位）から28単位（25単位）単位と増加したことに伴い、卒業要件単位数を129単位から130単位に変更する。</p> <p>●卒業要件単位数が1単位増加することに伴い、GPAの運用による最低基準20単位では、履修不可能となる年次が発生するため、履修科目の登録上限（半期）：1次前期22単位（基準値）を23単位（基準値）に変更し、以後当該の直前学期のGPAによる20単位～24単位の上限単位数を21単位～25単位へ変更する。</p> <p>●免許・資格取得については、看護師国家試験受験資格取得を129単位から130単位に変更する。又、看護師・保健師国家試験受験資格取得は、129単位を130単位に変更し、専門科目の「学校保健論」2単位を追加し、この科目及び既設科目である「災害看護論」1単位、「家族看護論」1単位及び「障害児・者ケア論」1単位より2単位以上を修得する。更に「地域看護学実習」4単位を5単位に変更し、修得する。</p>

- (注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置認可時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
- ・ 認可申請書の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。（記入例参照）

#### (2) 教員の資質の維持向上の方策（FD活動含む）

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況</p> <p>本学のFD委員会は、平成18年（2006）年に「聖泉大学FD委員会」が設置され、教育研究活動改善の立案、教員の研修計画、FD活動の点検・評価などに関する事項を所管している。</p> <p>その下部組織として「看護学部FD委員会」が平成23年4月より設置され、今後、FDに関する講演会・教材作成の工夫改善など教員の教育能力の向上を図る予定である。</p> <p>b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）</p> <p>「看護学部FD委員会」は、今後、大学教育のあり方を考える学習や「大学教育と講義のあり方」についてのワークショップ研修を行う予定である。また、FD活動を組織的に取り組むための研修会も開催する予定である。これらの研修では、全体研修と小グループによる分野別研修を組み合わせることにより、教員同士の意見交換の促進と意識改革を促すよう考えている。</p> <p>c 委員会の審議事項等</p> <p>(1) 教育研究活動推進のための立案</p> <p>(2) 教員の研修計画の立案・実施に関する事項</p> <p>(3) 学生の授業評価の計画・実施に関する事項</p> <p>(4) FD活動の点検および評価</p> <p>(5) FD活動に関する情報の収集と提供</p>
---

## ② 実施状況

### a 実施内容

- ・ 新任教員研修会
- ・ FDに関する講演会

### b 実施方法

学期ごとに開催する全授業科目について授業の目標、計画、内容、方法、そして、理解度などを学生にアンケート調査を行い、結果については、授業担当教員にフィードバックしてその授業の一言コメントを求めると共に、一方、授業アンケート結果を学部長に提出する。学部長は毎学期ごとに取りまとめ学長に報告する。学長は、授業アンケート結果を含めて、全学教員評価委員会に諮り、教員自らの諸活動の改善の活性化、学部教育、研究に役立て、十分でないと評価された教員に対しては指導・助言を行う。

### c 開催状況（教員の参加状況含む）

大学コンソシアム京都FDフォーラム参加による新任教員研修会の実施（平成25年2月）  
全学FD委員会企画によるFD研修会の開催（平成25年2月）

### d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

担当教員へ学生の授業評価をフィードバックして一言コメントを求める。

## ③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

### a 実施の有無及び実施時期

- （1）実施の有無 毎学期終了時に実施
- （2）実施時期 平成24年9月（前期実施） 平成25年2月（後期実施）

### b 教員や学生への公開状況、方法等

授業アンケート結果に係る「一言コメント」について、原文のままWeb上に公開

（注）・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。  
「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

### (3) 自己点検・評価等に関する事項

#### ① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

看護学部は、人間一人ひとりの生命の尊厳や生き方に関する理解と人間に対する深い洞察力やコミュニケーション能力の資質を養い、看護学の実践科学としての理論と技術、実践的判断の基礎的能力を身に付け、地域の環境・特性などを理解し、個々人のニーズに沿った看護の実践において積極的に地域社会に貢献できる看護実践能力を有する人材の育成を目的としている。

平成23年4月に設置認可を受け、本年度3年目となるが、入学者の確保に関しては、高校訪問や広報面での対策を積極に行った結果、入学定員の充足率は118%（昨年度114%）となった。授業担当教員については、速やかに担当者の変更、後任補充等により対応している。また授業科目に関しては、設置申請した科目をほぼ予定のとおり開講しており教育上の支障ないと考えている。このように、滋賀県の医療政策及び地域の保健医療福祉のニーズを踏まえ、地域の環境・特性を理解して地域に貢献できる看護師・保健師および養護教諭の育成を目指し、地域社会から着実に一定の評価を得られていると判断している。

#### ② 自己点検・評価報告書

##### a 公表（予定）時期

- ・平成25年10月1日 公表予定（平成25年度は教員評価結果を自己点検評価報告書として作成予定）

##### b 公表方法

- ・大学のホームページ上に公開

#### ③ 認証評価を受ける計画

- ・平成22年度に財団法人 日本高等教育評価機構の認証評価を受審し、「可」の評価を受けた。  
認定期間は平成29年3月までであり、第2期の受審に向け、平成23年度より準備を進めることとしている。